

株主・投資家の皆様へ

第106期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

ごあいさつ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の進展や、行動制限の緩和により経済活動および社会活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格の高騰に加え、急激に円安が進むなど、先行きが不透明な状況が続きました。

当社事業の主要分野であります食品業界におきましては、外食産業向け商品の需要は回復基調となりましたが、原材料・エネルギー価格高騰による食品の相次ぐ値上げで、消費者の節約志向が強まり、企業を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として、以下を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

- | | |
|---------------|----------------|
| ①市場変化への対応 | ②販売の強化（グローバル化） |
| ③品質管理体制の維持・強化 | ④環境への取り組み |
| ⑤人材育成 | ⑥業務改善による全体最適化 |

この結果、当連結会計年度の売上高は429億70百万円（前期比7.5%増）となりました。営業利益は40億4百万円（前期比16.6%減）となりました。経常利益は41億57百万円（前期比21.5%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は28億57百万円（前期比21.2%減）となりました。

なお、当社の期末配当金につきましては、1株当たり41円とさせていただきます。既に2022年12月6日に実施済みの中間配当金1株当たり10円とあわせまして、年間配当金は1株当たり51円となります。また、次期の配当金につきましては、年間1株当たり55円を予定しております。

当社は、経営理念であります「**世界の人々の健康と豊かな生活文化に貢献する**」研究開発型企業として、これからもグローバルな展開を目指してまいります。

そのため、当社グループは、**基本理念「好奇心 そして行動 (Imagine, Desire and Create)」**のもと、総力を結集し、新たな課題にも積極的にチャレンジしながら、進化を続けてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

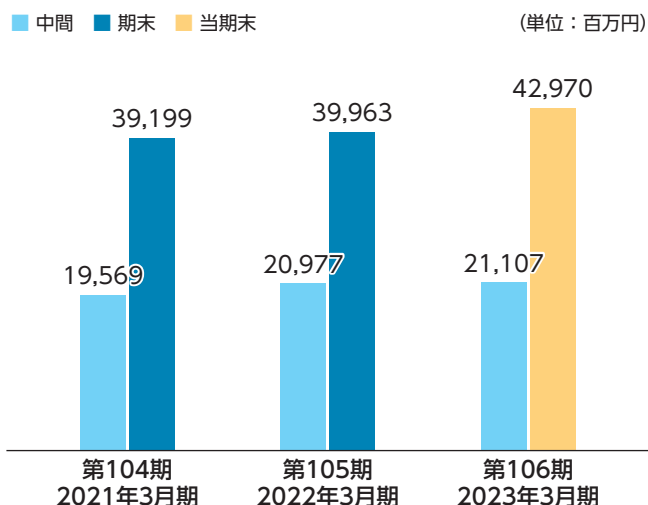
2023年6月

代表取締役社長

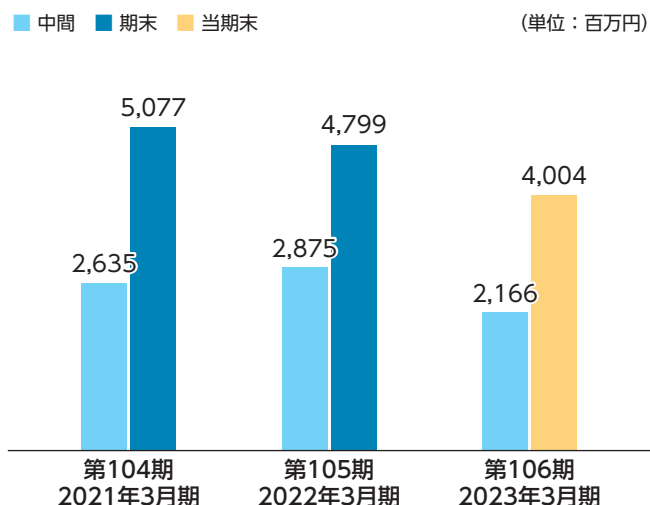
小崎 長 宏

決算ハイライト

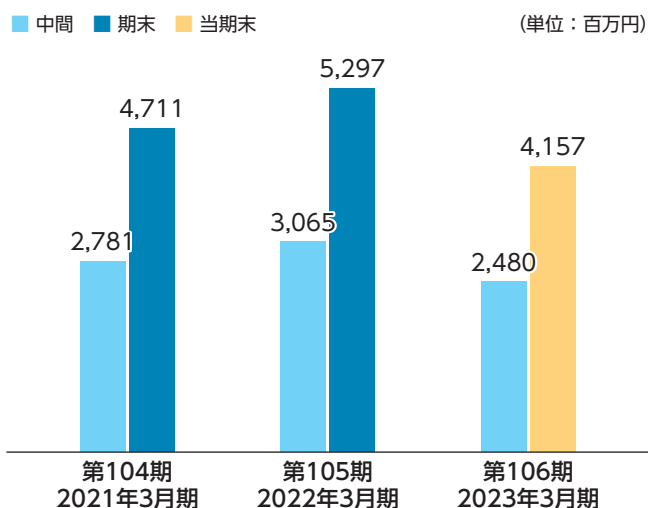
売上高



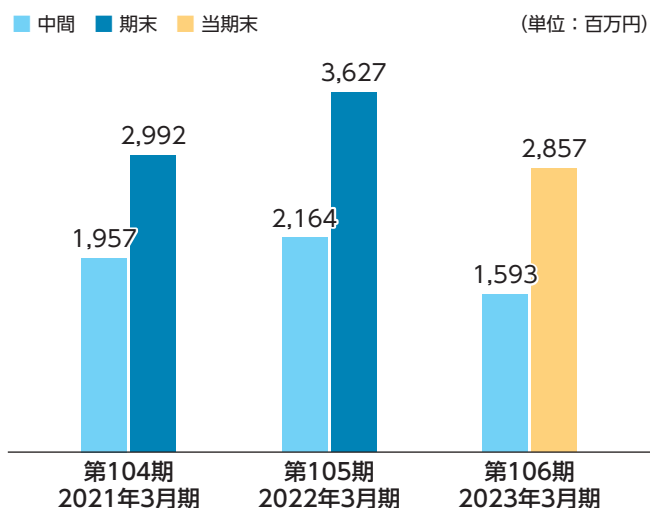
営業利益



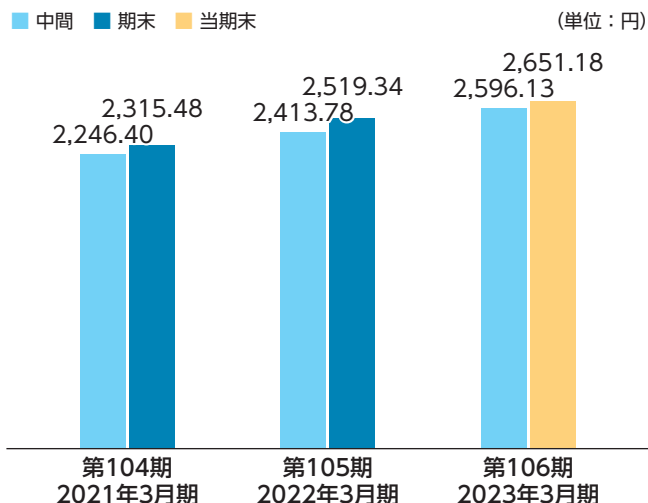
経常利益



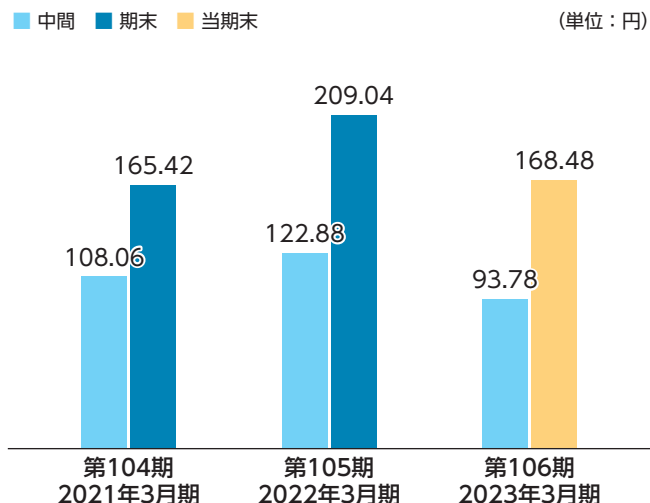
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり純資産<BPS>

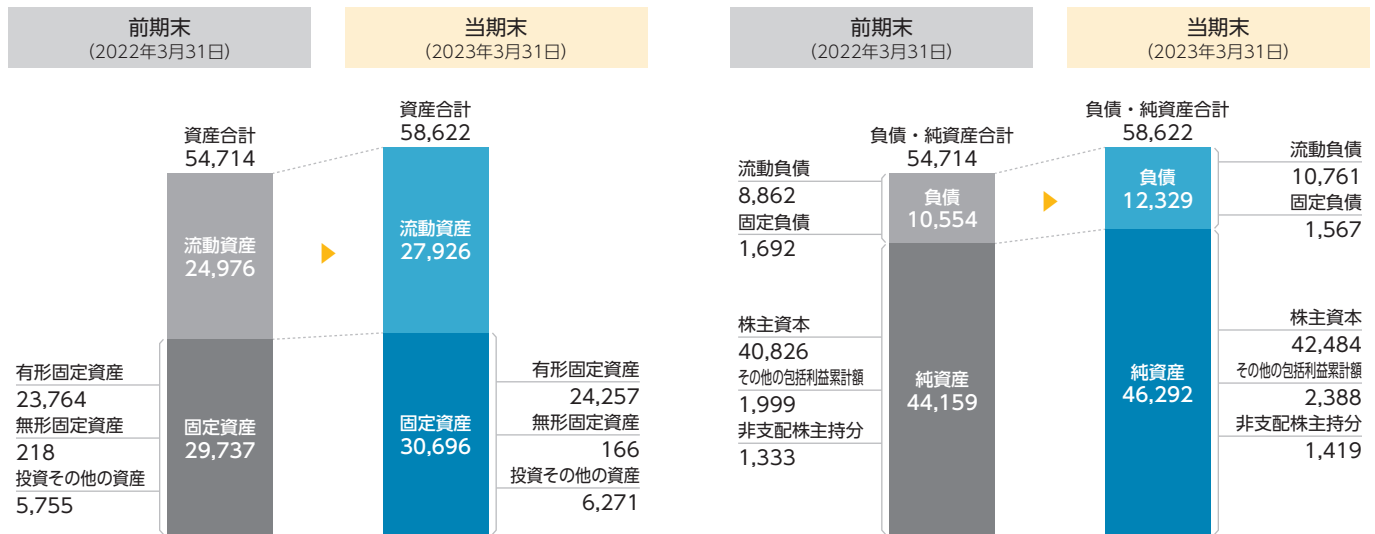


1株当たり当期純利益<EPS>

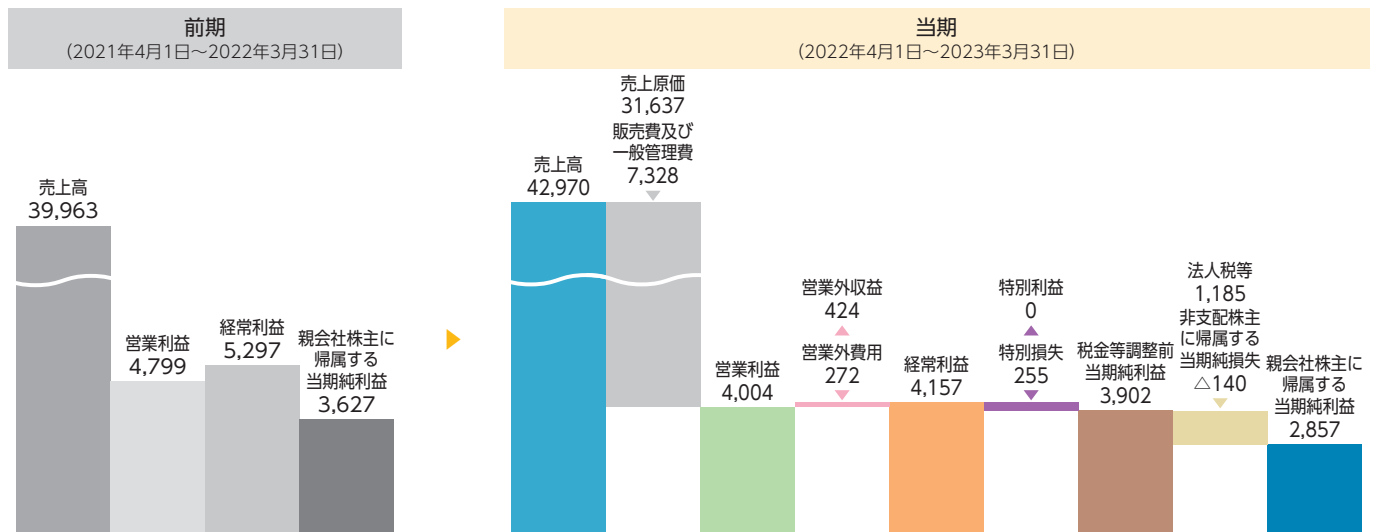


財務ハイライト

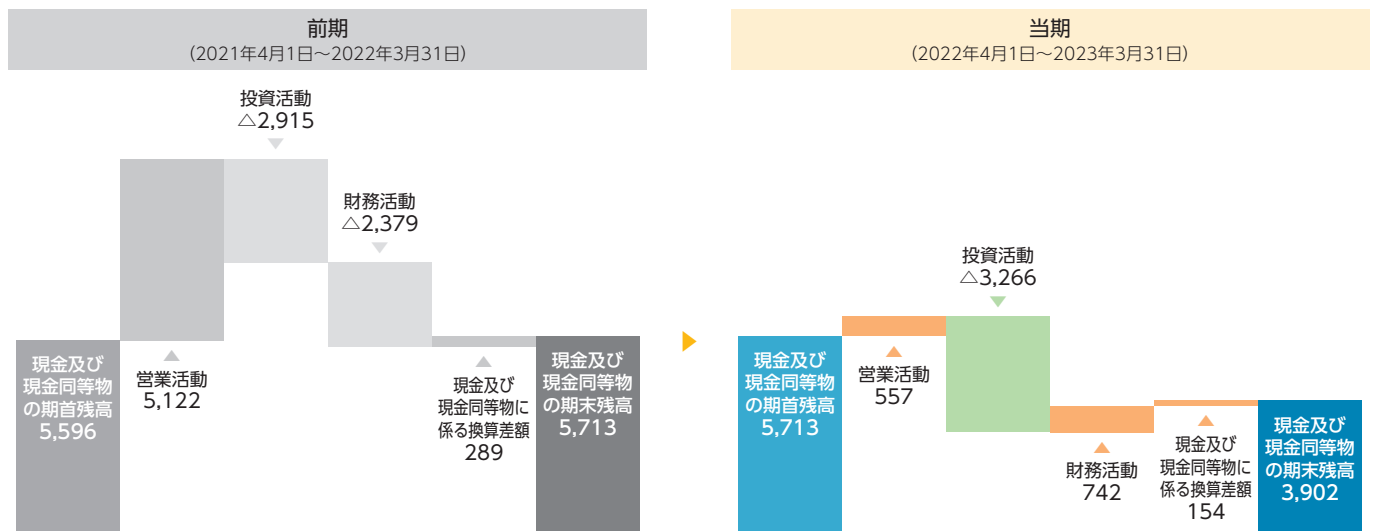
■連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



■連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



■連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



セグメントの状況

▶ ニュートリション事業

売上高

106億40百万円

前期比

1.1%増



売上構成比
24.8%

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

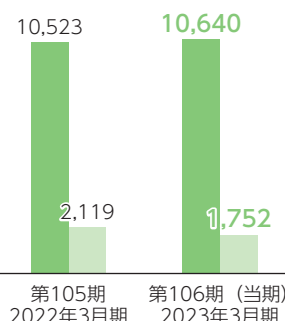
カテキンは、国内市場は増加しましたが、欧米市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、欧州市場及びアジア市場は増加しましたが、国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

テアニンは、国内市場は増加しましたが、米国市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、106億40百万円（前期比1.1%増）、営業利益は、17億52百万円（前期比17.3%減）となりました。

■ 売上 ■ 営業利益 (単位：百万円)



▶ インターフェイスソリューション事業

売上高

121億79百万円

前期比

6.9%増



売上構成比
28.3%

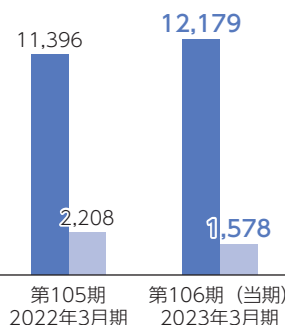
乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は国内市場が増加しましたが、海外市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

飲料用途及び一般食品用途のいずれも、国内市場、海外市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、121億79百万円（前期比6.9%増）、営業利益は、15億78百万円（前期比28.5%減）となりました。

■ 売上 ■ 営業利益 (単位：百万円)



▶ ナチュラルイングリディエント事業

売上高

200億4百万円

前期比

11.5%増



売上構成比
46.6%

乳製品、飲料、菓子、パン、総菜、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

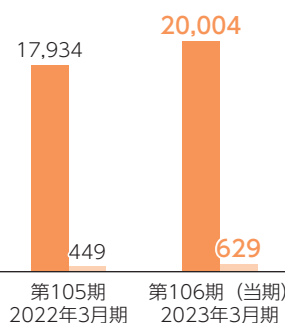
鶏卵加工品は、国内市場の調味料用途等向けの液卵加工品が減少しましたが、めん用途、調味料用途等の粉末卵は増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

即席食品用素材は、国内市場の即席めん用途が増加した結果、売上高は前年を上回りました。

安定剤は、飲料用途が減少しましたが、デザート用途、冷菓用途及び総菜用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、200億4百万円（前期比11.5%増）、営業利益は、6億29百万円（前期比40.0%増）となりました。

■ 売上 ■ 営業利益 (単位：百万円)



▶ その他の事業

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、1億45百万円（前期比34.2%増）、営業利益は、43百万円（前期比102.2%増）となりました。

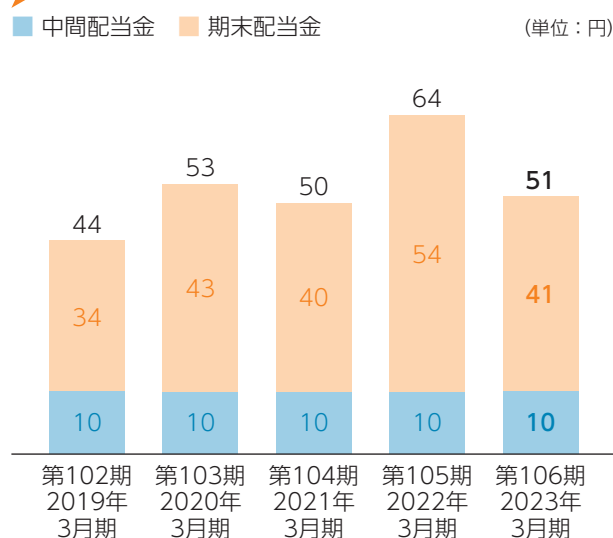
株主還元情報

剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最も重要な課題のひとつに位置づけております。

利益配分は、安定的な基準配当年間20円に、業績に応じた利益還元分を加え、配当性向30%を目処として継続的に行うことと、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な将来に備えた内部留保の充実を図ることを基本方針としております。

1株当たり配当金額の5年間の推移



株主様へのご優待

～ 特別価格販売のご案内 ～

株主様の日頃のご支援にお応えすべく、当社グループ会社であります株式会社タイョーラボのヘルスケア商品のご紹介、また、更にお求め易い特別価格に改定し販売させていただきますので、お引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



グループ会社 株式会社タイョーラボ サプリメント

株式会社タイョーラボのホームページよりご購入いただけます。

<https://www.taiyo-labo.jp/>



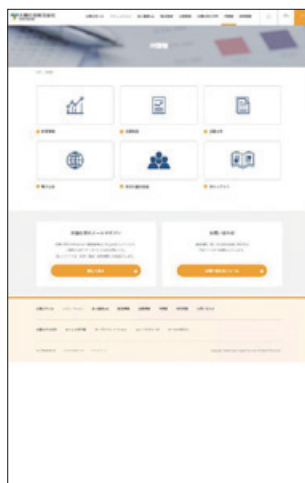
ホームページのご案内

各種の最新情報や、詳しい製品情報は当社のホームページに掲載しております。また、CSRサイトから、CSRレポートもご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。

<https://www.taiyokagaku.com/>



TOPページ



IRトップ



CSRトップ



CSRレポート

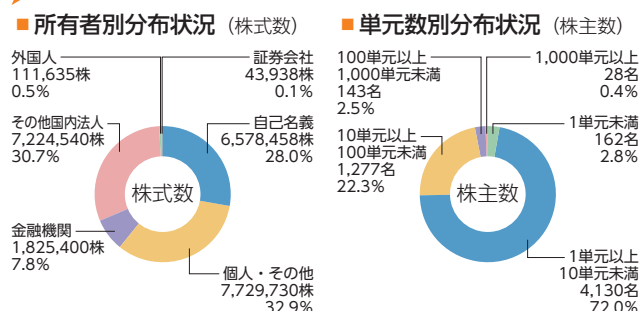
会社概要

会社名	太陽化学株式会社
英訳名	TAIYO KAGAKU CO.,LTD.
設立	1948年1月28日（創立／1946年5月）
資本金	7,730,621,500円
従業員	934名（この他臨時従業員159名）／連結
売上高	429億70百万円／連結
本社所在地	四日市本社 〒512-1111 三重県四日市市山田町800番 東京本社 〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目6番3号

株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	23,513,701株
株主数	5,740名

分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会の基準日 3月31日

剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

公告の方法 電子公告
<https://www.taiyokagaku.com/houteikoukoku/>
ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務所、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

製造・販売事業

当社グループの事業は、食品用乳化剤、安定剤、各種鶏卵加工品、即席食品用素材、農産加工品、栄養機能食品、化粧品原料等の製造と販売を主たる目的としております。

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
長陽物産有限会社	2,283,000	13.48
向陽興産株式会社	979,950	5.78
太陽化学取引先持株会	910,071	5.37
有限会社和向	760,000	4.48
一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC	516,400	3.04
株式会社百五銀行	437,800	2.58
株式会社三十三銀行	437,800	2.58
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	392,600	2.31
太陽化学従業員持株会	371,863	2.19
山崎長徳	283,458	1.67

※1 当社は、自己株式6,578,458株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

※2 持株比率は、自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

上場証券取引所	名古屋証券取引所メイン市場
単 元 株 式 数	100株

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取、買増請求のお申出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金計算書について
配当金お支払いの際に送付の「配当金計算書」は、確定申告を行う際に資料としてご利用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。